

祝！宮崎ブランドポーク10周年！

宮崎の豊かな自然と生産者の愛情と情熱が育んだ宮崎ブランドポーク。安全・安心で品質と美味しさに自信を持ってお届けしてきた宮崎ブランドポークが今年10周年を迎えました。

これを記念して、下記の「宮崎ブランドポークフェスタ」を11月26～27日にアミュひろばで開催します。

また、宮崎ブランドポークの「ひなた美豚焼肉セット」が当たるInstagramキャンペーンや、「現金5万円」や「家電調理器」などが当たる宮崎ブランドポークフェアも11月30日まで開催中です。

イベント・キャンペーンについてはこちら！



宮崎空港でマンゴーをPR

5月25日の「みやざきマンゴーの日」に、宮崎ブルーバリア空港で「太陽のタマゴ」と「みやざき完熟マンゴー」の販促イベントを行いました。

完熟マンゴーのふるまいや宮崎空港に期間限定でオープンしたマンゴー専門店と土産店で「太陽のタマゴ」を購入したお客様先着30名にスイートコーン1ケースを贈るキャンペーンを行いました。

県外のお客様を中心に大変好評で、ふるまいのマンゴーを食べて、皆様にっこり笑顔になりました^^



マンゴー専門店の前でPR

みやざきブランド餃子イベント出店♪

宮崎ブランドポークと県産のキャベツとにらを使用した「みやざきブランド餃子」をイベントで販売します。飽きのこない味付けで、やみつきになる美味しさが評判です。ぜひ、ご賞味ください。

Karada Good Miyazakiフェスタ2022

- 日時 11月13日(日)10時～16時
- 場所 JA AZM
- 内容 「宮崎の食」や「健康」、「地産地消」に関わる取組紹介やPR、販売。

MIYAZAKI Delicious Market2022

- 日時 11月18日(金)～20日(日) 10時～20時(初日は11時スタート)
- 場所 イオンモール宮崎店南側駐車場特設広場
- 内容 宮崎の牛・豚・鶏・餃子のお店が多数出店！県産青果物や加工品の販売、お子様が楽しめる搾乳体験や縁日コーナーもあります♪
・焼き芋の販売や芋ほりの疑似体験コーナー
・19日(土)9時30分～
太鼓の演奏、せんぐまき、みやざき犬ステージ

「たまたま」等を使用した商品開発

「JALふるさとプロジェクト」の一環として、完熟きんかん「たまたま」、日向夏、宮崎県産高菜を使用した商品開発に(株)もへじと取り組みました。開発された3商品はいずれも絶品の美味しさで、8月10日から全国展開するカルディコーヒーファームとオンラインストアで販売され、好評につき完売しました！

「完熟きんかんマーマレード」

完熟きんかん「たまたま」を丸ごと使用

「シャキシャキ玉ねぎと日向夏」

唐揚げや白身魚等に添える万能調味料

「にんにく香る高菜チーズ」

プロセスチーズと高菜をオリーブオイルで和え、パンやパスタと一緒に食べる。



販売された3商品



みやざきブランド『かわら版』

No.8
2022年
秋号

みやざきブランド推進本部(宮崎県・JA宮崎経済連)



燃料や肥料・資材の高騰、担い手の減少、輸送の問題など農業を取り巻く情勢は刻々と変化しています。そのような状況を踏まえ、令和4年度からは、新たな「みやざきブランド推進方針」のもと、みやざきブランドの推進がスタートしました。

今後も、時代の先を見越しつつ、持続的に地域農畜産業が発展していけるよう、生産基盤の確保に軸足をおきながら、未来に繋がるみやざきブランド対策を推進します。

また、取引先と連携し、確かな品質の農畜産物と産地の想いを消費者の皆様にお届けします。

みやざきブランド推進本部長 (JA宮崎経済連代表理事会長) 坂下 栄次

令和4年度トピックス

1 新たな「みやざきブランド推進方針」スタート！

◆3年ぶりに対面での委員会を実施。

5月31日にみやざきブランド推進本部委員会を実施しました。過去2年間は新型コロナウイルス感染症の影響により、書面議決であったため、3年ぶりに対面での委員会となりました。

昨年策定された新たな「みやざきブランド推進方針」に基づく事業計画が承認されました。



戦略1 豊かで競争力のある「産地づくり」



- ①労働力減少に対応した新たな生産基盤の構築
- ②スマート農業の普及・定着化
- ③環境配慮と生産性の両立

戦略2 将来の産地を担う「人づくり」



- ①産地の信頼を支える人づくり
- ②多様な経営体に対応したサポート体制の構築
- ③連携による労働力の確保

戦略3 責任を持ってマーケットに届ける「物流体制づくり」



- ①農産物輸送基盤の再編
- ②取引先等との協働による流通の最適化

みやざきブランド推進方針

～基本目標～

新たな価値を創出し、みやざきブランドの信頼と情熱を次の世代へ

戦略6 心をつかむ「ファンづくり」



- ①ブランドイメージとモノの価値が連動したプロモーション
- ②デジタルマーケティングによる新たなファンづくり

戦略5 マーケットが求める「取引づくり」



- ①取引先と連携した農畜産物の価値向上
- ②世界市場を見据えたみやざきブランドの展開

戦略4 新しい価値観に対応した「商品づくり」



- ①消費者と実需者の新しい価値観に寄り添った商品づくり

2 「産地づくり」・「取引づくり」

◆第12回全国和牛能力共進会にて、4大会連続で内閣総理大臣賞受賞！

令和4年10月6日～10日に鹿児島県で、第12回全国和牛能力共進会が開催され、宮崎県は7区(脂肪の質評価群)で肉牛の部の内閣総理大臣賞を受賞しました。

新たな付加価値を期待できる7区での最高賞の受賞により、宮崎牛のさらなるブランド力向上が期待されます。




内閣総理大臣賞受賞を喜ぶ関係者の皆さん



内閣総理大臣賞を受賞した7区の生産者

全共鹿児島大会の宮崎チーム成績一覧 出品牛と生産者(敬称略)

種牛				肉牛				
2区	いりす184	森田 正明 (小林市)	優等6席	6区	美華満天	馬場 牧場 (小林市)	5位	優等2席
	やすこ	森田 悠斗 (小林市)	優等2席		松297	竹之内 利弘 (小林市)		
3区	みほのふじ	織田 直行 (延岡市)	優等3席	7区	天空	神田 讓市 (えびの市)	優等首席	内閣総理大臣賞
	こうみほ	林 秋廣 (高千穂町)	優等首席		尚栄	佐藤 孝輔 (高千穂町)		
4区	はる2	藤原 和昭 (高千穂町)	優等2席	8区	弥士52の3	馬場 牧場 (小林市)	優等6席	特別区
	たかひめ9の9	井植 計二 (日之影町)			第33凛太郎	神田 讓市 (えびの市)		
	第8いちこの28	佐藤 悟 (高千穂町)			勝照福	稲本 民雄 (串間市)		
5区	ひかる1	増田 純一 (宮崎市)	優等2席	特別区	まひろ	小林 秀峰高 (小林市)	優等2席	優等2席
	ひかる12	増田 裕輔 (宮崎市)			1位	優等2席		
	ひかる127	増田 くるみ (宮崎市)						
6区	ひむか2	興 梶 大志 (五ヶ瀬町)	1位	優等2席	最高峰の肉 宮崎牛 			
	こころ	馬崎 太志 (高千穂町)						
	たけまん	田辺 貴紀 (高千穂町)						
	さくら2	興 梶 友成 (高千穂町)						

◆「ど〜んっ!と宮崎マルシェ」を開催!

5月13～15日に九州管内イオン九州において「ど〜んっ!と宮崎マルシェ」が開催されました。旬のマンゴーをはじめ、県産のきゅうりやGLOBAL G.A.P.認証を取得したピーマンと冷凍ほうれんそう、米やジュースを販売しました。

また、筑紫野店では、イオン九州(株)柴田社長、永山宮崎県副知事、坂下本部長が出席し、3年ぶりにステージイベントを実施。

みやざき犬もステージを盛り上げ、筑紫野の皆さんに宮崎の食や観光をPRしました。



左から)柴田社長、永山副知事、坂下本部長

◆「サステナウィーク」にて、GLOBAL G.A.P.認証商品をPR!

9月16～19日にイオン九州宮崎店にて、SDGsに取り組む商品を紹介するイベント「サステナウィーク」が実施され、GLOBAL G.A.P.認証商品であるJAえびの市産のピーマンと(株)ジェイエイフーズみやざきの冷凍ほうれんそうをPRしました。



試食と一緒にGLOBAL G.A.P.を紹介

3 「人づくり」・「ファンづくり」・「物流体制づくり」

◆JA日向2部会がひなたGAP団体認証を取得!

JA日向平兵衛酢部会GAP研究会(10名)が令和4年2月3日、JA日向冬春ミニトマト専門部会ひなたGAP研究会(4名)が令和4年5月24日にひなたGAPの団体認証を取得しました。

平兵衛酢部会では、平成30年の個人取得をきっかけに、ひなたGAP認証取得の取組を開始。説明会や講習会の取組を経て、団体での認証取得に至りました。

ミニトマト専門部会では、令和元年からGAP認証取得に向けた取組を開始。

GAPの取組が、安全・安心な農産物の生産・販売だけでなく、農業従事者の安全確保や環境配慮、経営改善など、多面的な効果を発揮しています。



ひなたGAP認証書交付式
(平兵衛酢部会GAP研究会)

JA日向平兵衛酢部会GAP研究会 代表 坂本 万善 さん



GAP認証取得を受けて、消費者が求める安全・安心な平兵衛酢を自信を持って提供できるようになりました。

また、GAPの取組は、働く側の安全や環境配慮の視点も必要で、農業の認識が変わりました。今後は全部会員の認証取得を目指して取り組みます。

JA日向冬春ミニトマト専門部会
ひなたGAP研究会 代表

田村 勝幸 さん



GAPの認証を受けることで生産者自身での意識改革を行い、安全・安心なミニトマトの生産・販売を行うことができるよう取組を始めました。

GAPに取り組むことで、農業の在庫管理によるロス削減や、安全のリスク評価による労働者の安全確保等、生産・販売以外にもメリットがありました。

◆東京・大阪・福岡でへべすをPR!

9月1日～30日に東京・大阪・福岡でへべすのフェアを実施しました。

県内外にファンが多い宮崎特産の柑橘、へべす。今後の生産・販売の拡大が期待されます。



宮崎県東京事務所

宮崎 涼子 さん



今回の取組は、お客様だけではなく飲食店の方にもとても喜んでいただきました。特にへべすを知らないお客様への説明はやりがいがあり会話のきっかけにもなったとか。へべすのさらなる認知度向上のためにも、引き続き首都圏でのPRを頑張っていきます。

東京：9/1～30日 宮崎へべす祭り(26店舗)

宮崎県大阪事務所

中村 剛 さん



京阪神エリアのみやざきゆかりのお店46店舗で延べ3000名を超えるお客様にへべすを味わっていただきました。協力店舗からも「今後もへべすを使っていきたい。同様のフェアがあれば参加したい」との声があり、次につながるイベントになりました。

大阪：9/1～30日 宮崎へべす祭り(46店舗)

宮崎県福岡事務所

中武 卓博 さん



居酒屋やBAR、洋菓子店など21店舗で開催しました。「もつ鍋」と「へべす」を掛け合わせた創作料理などの様々なメニューを通じて認知度向上を図りました。

今後のへべす料理の展開が楽しみです。

福岡：9/2～25日
みやざきへべすフェア(21店舗)

◆宮崎カーフェリー 新船就航!

宮崎と神戸を結ぶ、宮崎カーフェリーの25年ぶりとなる新船「フェリーたちほ」と「フェリーろっこう」が就航しました。宮崎の農畜産物を首都圏へ運ぶ重要な輸送手段として、今後も拡大が期待されます。

新船と旧船はここが違う!

項目	旧船	新船
長さ	170m	194m 船の揺れを軽減
トラック輸送台数	130台	163台 より多くの貨物を運搬!
トラック用電源	101台分	130台分 乗船中の農畜産物を適温で保管!
トラックドライバー専用個室	0室	110室 専用の客室でゆっくり休息♪

